

〈 セミナーのご案内 〉

● 配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 271 (通算 601 回)

2014 年 8 月 27 日 (水)

公的研究の責務、計画調書の進化——

科研費の申請・獲得策とその実際 IV

高等教育活性化シリーズ 276 (通算 606 回)

2014 年 9 月 26 日 (金)

教育・研修の義務化と体制強化——

研究倫理教育の責務とプログラム展開 II

公的研究の責務、計画調書の進化——

科研費の申請・獲得策とその実際 IV

～不正行為・使用の防止／審査のポイント／チェックリストとその改善例～

- ※ 科研費制度の拡充／応募・審査の要点／科研費管理の適正な執行／不正防止・倫理教育の強化
- ※ [立教大] 科研費実績／申請サポートプログラム実施の経緯／プログラムのメニューと実際
- ※ [筑波大] 科研費を多角的に捉える／支援策の試行／「資金獲得」を超えた意義／科研費の進化形へ
- ※ [東京医科大] 研究費 4 年間で 4 倍増／学長・研究支援課・医学総研 (研究者) の三位一体
- ※ [パネル討論] 大学戦略～研究力向上と第 3 の資金源／支援スタッフと教員・研究者の共働

● 講師陣 ●

大鷲 正和 氏 / (独)日本学術振興会 研究事業部 研究助成第一課長
林 良知 氏 / 立教大学 リサーチ・イニシアティブセンター
加藤 英之 氏 / (国)筑波大学 URA 研究支援室 主幹リサーチ・アドミニストレーター
中島 利博 氏 / 東京医科大学 医学総合研究所 教授

2014 年 8 月 27 日 (水)

日本教育会館

第 3 会議室 (東京・神保町)

教育・研修の義務化と体制強化——

研究倫理教育の責務とプログラム展開 II

～責任ある研究とは／新ガイドラインの運用強化／教育プログラムの実際～

- ※ 倫理教育の徹底／オールジャパンでの教育プログラムの作成／新ガイドラインと大学の責務
- ※ 教育プログラムの最新動向／CITI Japan プロジェクト (教材と e 学習) の全国展開
- ※ [亀田医療大] 研究活動倫理・生命倫理教育の実際／医学生・看護学生・医療者への展開
- ※ [早稲田大] 責任ある研究活動／学生対象「研究倫理概論」／教職員オンデマンド研修

● 講師陣 ●

片岡 洋 氏 / 文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課長
福嶋 義光 氏 / (国)信州大学 医学部 教授・前学部長 CITI Japan プロジェクト 事業統括
足立 智孝 氏 / 亀田医療大学 看護学部 准教授 日本生命倫理学会 事務局長
深澤 良彰 氏 / 早稲田大学 理事 (研究推進統括・情報化推進) 理工学術院 教授

2014 年 9 月 26 日 (金)

剛堂会館 (明治薬科大学)

会議室 (東京・麹町)



[参加要領]

日時： ■高等教育活性化シリーズ 271 科研費の申請・獲得策とその実際Ⅳ
2014年 8月27日(水) 10:00~16:50

会場：日本教育会館 第3会議室 (東京・神保町) 千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833
(東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」A1出口より徒歩3分)

日時： ■高等教育活性化シリーズ 276 研究倫理教育の責務とプログラム展開 II
2014年 9月26日(金) 10:30~16:40

会場：剛堂会館(明治薬科大学) 会議室(東京・麹町) 千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362
(東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声 CD 送付)
高等教育活性化シリーズ 271 科研費の申請・獲得策とその実際Ⅳ	41,000 円 (消費税込)	42,000 円(消費税、送料込)
高等教育活性化シリーズ 276 研究倫理教育の責務とプログラム展開 II	42,000 円 (消費税込)	43,000 円(消費税、送料込)

※ メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の参加形式です。

※ 開催後に当日配布資料及び音声CDをご送付します。

※ なお、当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたします。

※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または Email にてご送付ください。

※ 受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替：00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

☆ 同人組織としての「高等教育計画経営研究所」を創設、KKJのURLにてご覧ください。

お申込み・お問合せ



地域科学研究会
高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2014年 月 日

高等教育活性化シリーズ 271

(□に✓印を入れてください)

科研費の申請・獲得策とその実際Ⅳ

当日参加 メディア参加

高等教育活性化シリーズ 276

研究倫理教育の責務とプログラム展開 II

当日参加 メディア参加

支払方法 当日払い 銀行振込 郵便振替

必要書類 請求書 見積書

勤務先

〒

連絡部課・担当者名

所在地

メールアドレス

TEL

FAX

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00) 11:20	<p>□「科研費」の最近の動向</p> <p style="text-align: right;">日本学術振興会 大鷲 正和</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 科研費制度の概要 2. 科研費への応募・審査 3. 科研費の管理と適正な執行、不正防止 4. 研究成果の公開、普及・啓発 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:30) 12:30	<p>□ [立教大] 科研費申請サポートプログラム ～誰でもできるサポートを目指して～</p> <p style="text-align: right;">立教大学 林 良和</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 立教大学における科研費実績 <ol style="list-style-type: none"> (1) 研費実績の推移 (2) 科研費の重要性 2. サポートプログラム実施の経緯 <ol style="list-style-type: none"> (1) はじめの一步 (2) 小さく産んで大きく育てる 3. サポートプログラムの実際 <ol style="list-style-type: none"> (1) 科研費申請者向け説明会 (2) 申請書チェック (3) 採択申請書閲覧サービス (4) 申請書チェックシート・マニュアル・モデルケースの配布 4. まとめ <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:30) 14:30	<p>□ [筑波大] 科研費を多角的に捉える</p> <p style="text-align: right;">筑波大学 加藤 英之</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. URA としての科研費獲得支援策の試行 <ol style="list-style-type: none"> (1) 科研費獲得傾向の詳しい解析から見えてくるもの (2) 外国人研究者向け・女性研究者向け支援策 (3) 科研費セミナーと A-step セミナーのコラボ (4) 全件で 1,000 を超える申請書を前にして URA が出来る事 2. 科研費の「資金獲得」という目的を超えた意義の探求 <ol style="list-style-type: none"> (1) 科研費申請を研究表現力のトレーニングの機会と位置付ける (2) 自分の専門分野の市場調査の機会と位置付ける (3) 自分としての研究倫理の整理の機会と位置付ける (4) 研究人脈拡大や共同研究発掘の機会と位置付ける 3. 科研費制度の可能な進化形を議論するためのネタ振り <ol style="list-style-type: none"> (1) 分野外の審査員のために業績に相対被引用度 (分野の違いを吸収) を提示? (2) 基盤 A 以上の申請を英語記述として海外審査員を導入? (3) 国際共同研究の活発化のため海外研究機関所属の分担研究者を可能に? (4) 科研費分野と WoS 分野を繋いで見える日本が国際的に弱い分野の集中テコ入れ? <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:40) 15:40	<p>□ [東京医科大] 科研費への一私立医大の取り組み ～おこした奇跡 4年間で4倍への軌跡～</p> <p style="text-align: right;">東京医科大学 中島 利博</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学長のリーダーシップ <ol style="list-style-type: none"> (1) 公的研究費の重要性 (2) 2016年開校100周年を目指して 2. 研究支援課の取り組み ～何時まで、どこまで、何人で～ 3. 医学総合研究所の取り組み <ol style="list-style-type: none"> (1) 私の狙い (2) 4年前の状態 (3) 具体的取組 (4) 今後の方向性 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:50) 16:50	<p>□ [パネル討論] 科研費獲得に向けての実践シナリオ ～大学戦略として/支援スタッフと教員・研究者の協働～</p> <p>司会 □ 青野友太郎 パネリスト □ 林 良知氏 / 加藤 英之氏 / 中島 利博氏</p>

時間	講義項目
10:30 } 11:00	<p>□研究倫理教育の徹底と支援策 ～「不正行為」ガイドラインの見直しと大学の責務～ 文部科学省 片岡 洋</p> <p>1. 新たな「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」について (1) これまでの検討経緯 (2) 新たなガイドラインの概要 (3) 大学に求められる責務</p> <p>2. 平成27年度概算要求について (1) 科学技術人材の育成 (2) 研究公正の推進 (3) その他</p> <p>3. 今後の対応について 〈質疑応答〉</p>
11:10 } 12:40	<p>□研究倫理教育プログラムの最新動向とその実際 ～CITI Japan プロジェクトの全国展開～ 信州大学 福嶋 義光</p> <p>1. 研究倫理教育プログラムの動向 (1) 日本学術会議の「研究倫理教育プログラム」作成 (2) (独) 日本学術振興会 (JSPS) のプログラム展開</p> <p>2. Collaborative Institutional Training Initiative (CITI) とは (1) 米国の CITI～2004年4月発足とその活動 (2) CITI ジャパンの発足～2012年「大学間連携共同教育推進事業」採択 (3) CITI Japan プロジェクトの事業実施体制</p> <p>3. CITI Japan プロジェクトの分野拡大と全国展開 (1) 日本語及び英語教材の作成～米国 CITI との共同開発 (2) (独) 科学技術振興機構 (JST) ～採択要件での義務化 (3) 研究倫理教材とオンライン教育の提供と実際 〈質疑応答〉</p>
13:40 } 14:40	<p>□ [亀田医療大] 研究活動倫理・生命倫理教育への取組みと展開 ～看護教育プログラムの実際と提案～ 亀田医療大学 足立 智孝</p> <p>1. 研究活動倫理・生命倫理教育の実際 (1) 医学生における倫理教育の実際 (2) 看護学生における倫理教育の実際 (3) 医療者に対する倫理教育の実際</p> <p>2. 亀田医療大学看護学部における倫理教育の実際 (1) リベラルエデュケーション (2) 専門教育 (3) 課題</p> <p>3. 研究活動倫理・生命倫理教育への提案 (1) 段階的な実施 (2) 実際と理論の統合 〈質疑応答〉</p>
14:50 } 16:40	<p>□ [早稲田大] 責任ある研究活動に向けたさまざまな取組み ～研究推進におけるアクセルとブレーキのあり方～ 早稲田大学 深澤 良彰</p> <p>1. 「責任ある研究活動」への幅広いアプローチ (1) 「責任ある研究活動」概観 (2) 「責任ある研究活動」におけるさまざまな要素 (3) 周知・広報活動の重要性 (4) 行動規範等の規程</p> <p>2. 「責任ある研究活動」に関する学生教育・FD (1) 学生対象倫理科目「研究倫理概論」－研究者を目指す人々へ－ (2) 教職員向けオンデマンド研修 (3) 教職員セルフマネジメントセミナー (4) 類似度判定機能の提供</p> <p>3. 各種広報活動と委員会体制 (1) 研究倫理オフィス Web ページ (2) パンフレットと講演会 (3) 「責任ある研究活動」のための委員会体制 〈質疑応答〉</p>